

医療法人 正観会 御野場病院 広報誌



なおみ

第37号

令和5年11月発行

信頼され、選ばれる病院を目指して



INDEX

- 第38回 なんケアの会
- 栄養科だより ● 訪問介護事業所の休止について
- 地域包括ケア病棟(3A病棟)の取り組み
- 大雨災害について ● 記録的な猛暑について
- 理念 ● 診療担当医表 ● アクセス



南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時:令和5年10月6日(金)18:00~19:00 会場:南部市民サービスセンター「なんびあ」2階 地域文化ホール

参加者:46名(介護事業所関係者24名、医療機関関係者3名、地域包括支援センター4名、医療関係者12名、その他3名)

演題

高齢者の心不全について

講師:秋田赤十字病院 循環器内科部長 岩谷 真人 先生

高齢者の心不全について、急性心不全と慢性心不全の違いや治療法、術前術後の様子を動画を交えて分かりやすくお話していただきました。心不全の治療には間違いなく大事な薬となるのが利尿薬ですが、物によっては薬価が高いため施設によっては使用が難しい場合もあるそうです。

心不全にはリハビリも効果的で、苦しくない程度に散歩をし、筋力を低下させないようにすることも大切だということを教えていただきました。

貴重な講演ありがとうございました。

講演中



会場の様子



質疑応答

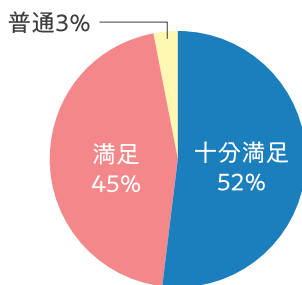


✓ 参加者の皆さんにアンケート

回収率:91.3%(アンケート配布:46名、回収:42名)

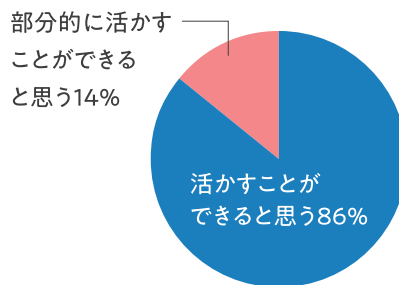
Q1.なんケアの会に

参加していかがでしたか?



Q2.今後、地域での活動に

活かすことができそうですか?



💬 皆さんからのご意見・ご感想

予後について話し合いの場を持つことの重要性を再認識できました。積極的に家族に提案していきたいです。岩谷先生の話が聞きやすく、心不全へ理解が深まりました。「楽しみ」も重要といった旨の話が心に残りました。

介護支援事業所関係者

心不全など循環器疾患に対して苦手意識がありましたが、先生の説明がわかりやすく、理解を深めることができました。また、高齢者によくある疾患について医師からの話を聞ける機会があるといいと思います。

地域包括支援センター

パーキンソン病で通所リハを利用していた方が、慢性心不全の急性増悪で入院後利用再開の際に、心不全ではリハの対象にならないと利用を断られました。今日のお話で、運動はダメなことじゃないと知れてよかったです。

介護支援事業所関係者

栄養科だより

9月のランチデーメニューについて
ご紹介いたします。

今回は、当院では人気傾向の和食
メニューをご用意いたしました。
患者さんからは「煮物の味付けが
よく、おいしかった」「サキホコレは初

● 9月のランチデー ●

物で、食べることができて嬉しい」と
の意見がありました。

普段はあまり食が進まない患者
さんも、いつもより食べてくれたよう
でした。

メニュー

揚げ茄子の
南蛮漬け

炊き合わせ
(有頭エビ、シイタケ、
がんもどき、インゲン)



サキホコレ

2色だんご
(サクラ、白ゴマ)

暑すぎた長い夏もようやく終わり、秋の到来です。

入院患者さんに行った嗜好調査では、秋の味覚で食べたいものに
「柿、梨、サンマ」の意見が多くありました。ご期待に沿えるよう、今後
の献立に取り入れていく予定です。



訪問介護事業所の休止について

御野場ヘルパーステーション(平成12年4月
開設、訪問介護事業所)は、諸般の事情より、
令和5年8月末日をもちまして、事業を休止して
おります。これまでご愛顧いただきました皆さん
に感謝申し上げますとともに、ご不便をおかけ
することに対して、お詫び申し上げます。

なお、今後のサービス提供につきましては、
担当のケアマネージャーと相談のうえ、引き継
ぎ先の事業所を選定するなど対応してまいりま
すので、ご理解いただきますようお願い申しあ
げます。

地域包括ケア病棟(3A病棟)の取り組み

地域包括ケア病棟は、急性期病院での治療を終了し病状が安定した患者さんが、自宅退院(または在宅系の施設入所)を目指す病棟で、退院までの支援をさせていただきます。また在宅療養中の方でも、病状が悪化し入院治療が必要なときや、一時的に在宅介護が困難になったときなど、さまざまな入院療養に対応している病棟です。

患者さんが安心して、スムーズに自宅や施設へ退院していただけるよう、医師・看護師・介護士・リハビリテーションスタッフ・医療相談員など多職種によるチーム医療に取り組んでいますので、その一部をご紹介します。

安心した退院に向けた 多職種と密な連携

規模は小さな病院ですが、それが職員間同士の顔が見える関係性の充実につながっています。入院から退院に関する相談の窓口である医療相談室と医師・看護師が中心となり、退院先の調整などに取り組んでいます。医療相談員は入院中から退院後の生活を見据えた介護保険をはじめとした各種サービスの助言を行い、在宅復帰を支援しています。また入退院支援看護師と共に、患者さんの在宅復帰・退院後のケアについて地域と連携しサポートできるよう取り組んでいます。

ケアの質向上を目指した 病棟看護師と介護士による連携

すべての患者さんについて、入院から1週間後と1カ月後にカンファレンスを行っています。日頃患者さんのケアを行っている看護師と介護士が意見を交わし、さらなるケアの充実や退院に向けた課題の共有、解決に向けた話し合いを通し、よりよい看護・ケアができるように一丸となり取り組んでいます。

カンファレンスの様子



充実したリハビリテーションの実施

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が専門性と高度な技術をもって患者さんの在宅復帰を支援できるよう充実した体制を整えています。担当療法士が退院前にご自宅へ訪問し、手すりをはじめとした生活に必要な福祉用具の選択、住宅改修などのアドバイスも行っています。また、近隣の患者さんについては当院の訪問リハビリテーションや通所リハビリテーションも行える機能を有しており、スムーズな在宅復帰が実現できる環境を整えています。

個別のリハビリテーション時間 以外での運動

月に2回、病棟内で入院中の患者さんを対象に、理学療法士・看護師・介護士が協力し、体操やレクリエーションを実施しています。ボールを使ったレクリエーションなどを行い、患者さんの気分転換や生活リズムを整えることを目的に取り組んでいます。柔らかい表情が見られたり笑い声が聞かれ、患者さんからは楽しいと評価を頂いています。

地域の皆さんに選ばれるよう、これからも患者さんの思いに寄り添った取り組みを継続していきたいと思っています。

にこにこ広場の様子





秋田県大雨災害について



7月14日からの記録的な大雨により、県内の広範囲にわたり浸水被害などが発生しました。被害に遭われた方には、心よりお見舞い申し上げます。

当院職員のうち十数名の自宅が床上浸水するなどの被害はありましたが、病院建物・設備への被害はなく、通常どおり診療を継続することができました。入院患者さん・ご家族の方には、ご心配をおかけいたしました。

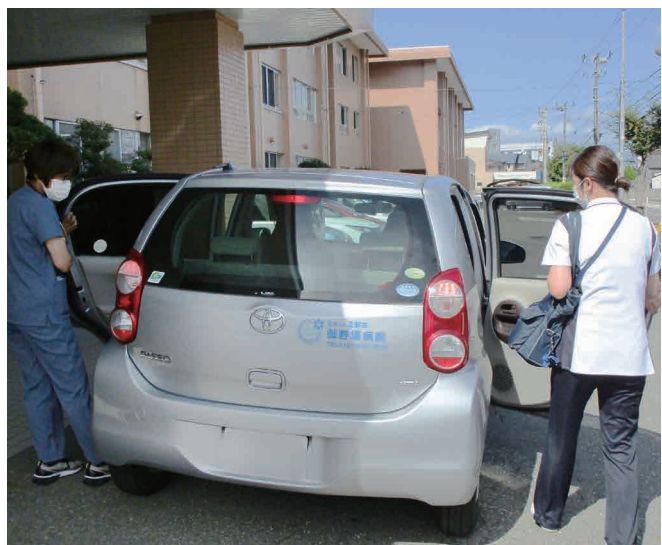


記録的な猛暑について



記録的な猛暑となった8月。横手市では8月31日、県内観測史上最高の39.2度を記録するなど、8月の県内は危険な暑さになりました。秋田市の8月1カ月間の平均気温は30.0度、統計を取り始めた1883年以降で過去最高だったそうです。また7月23日から9月1日まで、41日連続で最高気温が30度以上を記録しました。

猛暑が続く中、訪問診療については、暑さ対策をしながら、計画的に取り組みました。



「信頼され、選ばれる病院を目指して」

— 安全・信頼・連携・地域密着 —

私たちは、皆様が住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしい生活ができるよう、
地域包括ケアシステムの一環を担う病院として、安全で心の通った医療・保健・福祉サービスを
提供し、患者様や地域の皆様から信頼され選ばれる病院を目指します。

診療担当医表

診療時間	診療科目	月	火	水	木	金
午前 9時～12時	内 科	吉川 晴夫 小田嶋 貢	吉川 晴夫 金谷 有子	大野 秀雄	石黒 英明 金谷 有子	石黒 英明
	神経内科	—	—	—	石黒 英明	石黒 英明
	歯 科	千葉 正明	千葉 正明	—	千葉 正明	千葉 正明
午後 1時30分～3時	内 科	大野 秀雄	小林 佳美 皆河 崇志	大内慎一郎 吉川 晴夫 市原 利晃 (第2)	皆河 崇志	小田嶋 貢 (第2・4) 小林 佳美
	リハビリ	—	小林 佳美	—	—	小林 佳美
	神経内科	石黒 英明	—	—	—	—
	歯 科	千葉 正明	千葉 正明	—	千葉 正明	千葉 正明

※令和5年11月1日以降 ※午前の受付は11時30分までをお願いします。

※出張などにより、担当医が変更になる場合がございます。指定の医師をご希望の場合は、事前にお問い合わせください。

医療法人 正観会 **御野場病院**
〒010-1424 秋田市御野場二丁目14-1
TEL.018-839-6141 FAX.018-839-5025



- JR秋田駅より車で20分
- バス（秋田市営交通）
御野場団地線／御野場病院前下車

